

## e-モニターアンケート結果報告書

<b>アンケート名称</b>	男女共同参画に関するアンケート
<b>担当部・課名</b>	総務部 多様性社会推進課
<b>アンケート結果の市政への反映状況</b>	
<p>「市川市男女共同参画基本計画 第8次実施計画」(令和5年度～令和7年度)では、8つの主要課題ごとに、成果指標の目標値を設けています。</p> <p>このうち今回のアンケートでは、男女共同参画に関する市民の皆様の意識や認知度について調査しました。</p> <p>主要課題1の「あらゆる分野への男女共同参画の促進」の成果指標とした、市の政策や社会のあらゆる分野において「男女共同参画が進んでいる」と思う人の割合は目標値は24%のところ27%、主要課題2の「男女共同参画の意識づくりと教育の推進」の成果指標とした、社会全体で「男女の地位は平等になっている」と思う人の割合は目標値14%のところ11%、主要課題3の「ワーク・ライフ・バランスの推進による職場における男女共同参画の実現」の成果指標とした「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っている人の割合は目標値75%のところ81%、主要課題4の「男女が協力し、支え合う家庭の確立と福祉の充実」の成果指標とした「夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい」という考えに反対する人の割合は目標値54%のところ53%、主要課題5の「生涯を通じた健康支援」の成果指標とした「自分の健康のために何かしている人の割合」は目標値70%のところ68%、主要課題7の「男女共同参画社会の形成を目指す国際的協調の推進」の成果指標とした「市川市は外国人が安心して暮らせるまちだと考える人の割合」は目標値58%のところ53%、主要課題8の「男女共同参画を推進する体制の整備」の成果指標とした「男女共同参画社会」という用語を知っている人の割合は目標値88%のところ88%という結果となりました。</p> <p>また、男女共同参画の施策のうち、どれを推進するべきかとの設問(2個まで選択可能)では、職場のワークライフバランス推進が31%、DVやセクハラ対策と学校での男女平等教育が28%とのアンケート結果となりました。</p> <p>この結果を踏まえ、第8次実施計画の事業を着実に実施してまいります。</p> <p>さらに、男女共同参画の活動拠点である「男女共同参画センター」の認知度を高め、様々な事業を通じて、これからも市民の皆様にも男女共同参画を分りやすく身近な問題として捉えていただけるよう努めてまいります。</p>	